

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	決められた業務しかこなせず、臨機応変に対応したり、広い視野で物事をとらえることができない職員が多い。そのため、とっさの状況判断や問題が発生した時の解決策を自ら考えることができない。	社会人としての常識や運営面の知識を習得することにより幅広い視野を持って物事を考えられるような人材育成に取り組む。	介護や認知症といったテーマ以外の一般のビジネスパーソンに向けた書物やコンテンツを活用した研修を企画、実施する。	6ヶ月
2	36	対応困難な認知症の利用者が増えているがそれに伴った対応力の向上が出来ていない。その為認知症の利用者の行動を抑制するような対応法しか考えられない。	認知症対応の方法を自ら考えられる発想の柔軟さや抑制ではない認知症対応方法を状況に応じて考えることが出来る。	カンファレンス時にケーススタディの題材を用意し、話し合う機会を設ける。方向性のズレを修正し認知症ケアに関する考え方を統一する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。